



報 会 あがた

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

発行所：
松本県ヶ丘高等学校
東京同窓会
〒157-0061 東京都
世田谷区北烏山 7-2-18
インテリアARAKI内
TEL 03-3308-5610
発行人：佐藤 悦雄

縣陵、新しい時代を 見据えた挑戦

— 高校統廃合危機、少子化、私立高校台頭の中で



探究科の授業ではiPadを使用。基本、生徒が自前で購入している

卒業から30周年を迎えた回期のメンバーが、母校に立ち返る機会となる伝統の「愛のりレー」「東京同窓会」。仕事に子育てにと、ちょうど忙しい最中の40代後半のタイミングでこの活動を託されることに戸惑いを感じながらも、地域で大きな役割を果たしている母校にとって同窓生ができることは何かと考える中、母校の今を知る必要があると思ひ、懐かしい面々と久しぶりに学校へ足を運んだ。

(高41回卒取材班)

県下初 探究科2年目

知識を詰め込むだけでなく、社会で問題を解決する力、思考を養うことを意識した授業を行う先駆けとして、2018年度創設された「探究科」。笑顔で迎えてくれた3人の一期生たちは声をそろえて「充実している」と目を輝かせた。高田のりさんは、「一つのことを深く掘り下げて考える力が付くことに興味をもって入学した。一年たつて、人に伝えるときの表現力やいろんな視点から物を言うようになったように感じる」と話した。陸上部に所属する鳥羽亮太さんは「部活との両立は



「充実した1年を送れた」と口をそろえる探究科一期生の3人

大変。発展途上国の力になりたいたので、高校生活を通じ、視野が広がると思う」という。

IT環境 拡充へ

探究科はiPadを入学時に購入してもらい、授業で利用を始めた。ネット環境は同窓会中心に進めたふるさと納税(※2ページ参照)などの寄付金で整備が進んだ。「IT環境整備は必須。授業でiPadを活用することによるメリットは多く、今後、普通科の生徒にも導入を進めたい」と探究科主任の卯之原智也教諭。2年後には全校無線LAN環境整備する考えた。無線LANの導入に続き、電

子黒板の整備や探究科ルームの設置など学習環境の整備、拡充のために同窓会からの継続的支援を期待している。

探究型学習は、現時点では県内では先駆けの取り組みだが、2019年度からは、ほかの学校でも取り組みが始まるという。「探究科でのアドバンテージを活かし、縣陵がリードするような形にしていきたい」とする。



左から卯之原智也探究科主任、羽賀規真教諭(高50回卒)、塩原潤教諭(高57回卒)

生き残りをかけて

このような取り組みの背景には、少子化に伴う統廃合の危機が迫っていることがあるという。縣陵は受験の志願倍率が探究科は3.0倍、普通科は1.2倍(2019年3月県教委)と、30年前と変わらず志願者が多いが、杉村修一校長は「まったく



「社会に出てから使える人材になるきっかけを与えたい」と話す杉村修一校長

油断できない状況」と話す。さらに中高一貫の私立高が、じりじりと県立高校を脅かし始めているのも感じている。だからこそ、「中信地区をけん引する存在である縣陵が存続するため、教育内容もそう在るよう積極的に改革し、どんな状況でも生き残れる人間力ある人材を育てる場として発展したい」と意気込む。市内4校で連携した授業単位を作るなどのアイデアの提案もしているという。特色や魅力あふれる場の提供に向け100周年までがひとつの勝負かもしれない。

【取材を終えて】

私たちが卒業した1989年は、1月に昭和が終わわり、卒業時に平成に入った年だった。それから30年、校舎はそれほどまでに変わっていなかったが、教育現場の変わりようには驚いた。こんなに色々と教育コンテ

ンツはなかったし、先生にも放置されていた気がする。うらやましい半面、学習環境が与えられることが当たり前になることの弊害はないのだろうか。ハングリー精神は育つのか、とも思った。

母校が無くなるとしたら、それは単純にさみしい。昨年から同窓会で始まった「縣陵の学びを支援する会」などを通し、松本や若い世代のことを、同窓生として一緒に考えて議論し、できることを実行していくことが大切だと感じた。

縣陵OB 現役教諭の談話

羽賀規真教諭(高50回卒) 英語・39歳
教科書がわかることがゴールではない。入試対策以上に、生徒が大人になった時をイメージして授業している。入試は少し怖いけど、新しい授業を挑戦したい。

塩原潤教諭(高57回卒) 数学・32歳

自分の世代と比べ生徒がかなり真面目な行動力がある。数学は探究の道具になることが多い。社会に出て、今学んでいることがどう活かせるのか、ただ問題を解くだけではなく、課題

を発見する場として役立てられるような授業をしたい。

◆ふるさと納税による支援

長野県に対するふるさと納税(寄附)を「松本県ヶ丘高校への寄附」と記入して納税することで、寄附金の全額が縣陵の学びと部活動の運営予算に組み

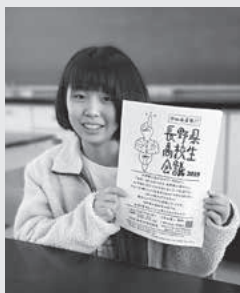
込まれる仕組み。長野県外在住者の場合には、従来のふるさと納税と同様に長野県の特産品をお礼として受け取れる。また、ふるさと納税(寄附)額のうち二千円を超える部分について、一定の上限まで、原則として所得税・個人住民税から全額が控除される。

県下初の長野県高校生会議を2月に開いた田口歴さん(3年)

「高校生の夏休み、どうあるべき」――。英語科3年の田口歴さんが中心となり2月17日、松本市議会を貸し切り、県内初の「長野県高校生会議」を開いた。田口さんは2018年全国高校総合文化祭(信州総文祭)で生徒実行委員会副委員長を務めた体験から、「高校生同士が刺激し合うネットワークを作りたい」と考えた。県教委で夏休みが延長されることが決定したことに違和感を持ち、「高校生が自ら有意義な夏休みにするにはどうするのがいいのか意見を述べることが大事なのは」との思いから行動に移した。

当日は県内各地から30人が参加。夏休みのあり方について、活発な議論を繰り広げ、県内の新聞やテレビでも広く取り上げられた。「一つのことをやり遂げるのは大変だった。期限を決めて計画的に行うこと、話し合っ一つのものを作る」と。大人とのやり取りなどとてもいい経験になった」と話していた。

「一人でも多くの高校生に知らせて参加してほしい」とチラシを作成し、全高校にいきわたるよう発送。そのほか、会議の実施費用約10万円を集めるため、クラ



長野県高校生会議を開いた田口歴さん(英語科3年)

縣陵三二會

(昭和32年 高9回卒)

平沢 和久

〒214-0036

川崎市多摩区南生田6-26-1

長野県 松本県ヶ丘高等学校 東京同窓会

会長 佐藤悦雄

(昭和33年 高10回卒)

〒203-0043 東京都東久留米市下里7-3-33 Tel. Fax. 042-475-3241

新しい時代へ、次世代に向けて

第52回実行委員長 伊藤 誠治(高41回卒)



高校を卒業して四半世紀、夏の高校野球の予選結果くらいしか母校に対する関心もなく、同級生との関わりもなかった自分が、数年前に参加した東京同窓会以来、突如、同窓会活動に巻き込まれ、今年には実行委員長という大役を拝命しています。今年の東京同窓会総会・懇親会のテーマは、「Generation」昭和・平成、そして新しい時代へです。高41回生は平成最初の卒業生とし

て母校を巣立ち、学生、社会人として平成を駆け抜けてきた世代です。そしてこの会報が発行される頃には新しい元号が発表されている予定です。"generation"という言葉には、「時代、ある思想・行動などを共にする同時代人々」という意味とともに、動詞の"generate"には「発生する、生成する、生み出す」といった意味があります。準備活動、総会・懇

親会を通じて、次世代の同窓会や母校への貢献について、同窓会関係者、同期、若手とともに考える機会とし、現役高校生世代にも世代を超えてメッセージを伝え、共有したい、そんな思いを込めました。私自身、この活動を通じて、今まではまったく知らなかった母校の状況や我々の故郷である松本や中信地域の現状を知ることになりました。そんな思いをこの会報や同窓会総会・懇親会でお伝えできればと思っています。

また、41回生は「愛のリレー」の活動も苦戦をしました。でもそこは縣陵魂、松本のメンバーが中心となって細かい繋がりを手繰るように同級生のネットワークが再構築され始めると、そこにエネルギーが集まってきています。今後、少子高齢化社会が進行すれば、今までのような同窓会活動やその運営もいづれ行き詰まるか負担を少なくできるように、今から少しずつでも改善することにご協力いただければと思います。新しい年号になって初めての同窓会、6月8日、みなさまのご来場、心をこめてお待ちしております。



愛のリレー 悲喜交交

「母校愛のリレー」実行委員長

伊東 昌恒(高41回卒)



『母校愛のリレー』この記念事業の実施にあたり、様々なご指導ご協力をいただきました、学校の皆様、同窓会本部の皆様、諸先輩方には心より御礼申し上げます。

この活動を始めるにあたり、前年の先輩に残していただいた趣意書を元に募金金額を設定し同窓生に送付したところ、「寄付と言うが、いつ

たいこの莫大な額をどこに何の為に使うのだ？」等、様々な厳しい意見が実行委員会に届けられました。目標金額の妥当性を検証し再設定、皆で意見を出し合い取りまとめ、同窓生の同意・賛同をもらいながら活動してきました。もう今までのやり方では行き詰る時代だと実感した私達は、会議

や作業の場所も飲み屋ではなく、同窓生の経営する会社の一室を借りたり、公民館を利用したり、とにかく節約に努めました。送付した案内も実家で止まり同窓生の手元に届いていない事態も多発。LINEやFacebookを頼りに少しずつ告知を広げて行きました。電話も使用しましたが、何せ特殊詐欺が猛威を振るうご時勢、塩対応にさらされ心が折れる場面も有りました。

意図的に同窓会との全ての関わりを断ち切った方もいました。私たちが実行委員は様々な厳しい現実に晒され続けました。それでも、実行委員会のメンバーは協力し続けてくれました。『だって、30年ぶりの1回限りの機会だもん！皆に知らせたいじゃん』そう言ってくれたメンバーの言葉が、最高に嬉しかった。時代は変化し人々の意識も変わりました。同窓生だから…の価値観は昔ほど一般的では無くなりました。同窓会活動も変わって行くのでしょね。本当に忙しい中、余裕のない中、活動に関わってくれた総ての同窓生に心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

健康ですか？
悩んだり あきらめる前に

松本 整体

〒168-0082 東京都杉並区久我山 5-7-9-102
(京王井の頭線 久我山駅前)

☎ 03(3332)5725(予約制)

院長 久保田昇子(高18回卒)

TSUKAHARA JEWELRY
Pearl-Colored Stone・Diamond

有限会社 塚原ジュエリー

塚原 哲夫 (高18回卒)

南洋珠・色石・ダイヤモンド輸入・卸

〒164-0014 東京都中野区南台3-10-4-302
TEL/FAX 03-3837-9758 携帯 090-3234-6187

不動産・相続の身近な相談所

三澤 政興 (高18回卒)

ファイナンシャル・プランナー(CFP)
公認不動産コンサルティングマスター
上級相続アドバイザー

株式会社 日本ビルワーク
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-35
小林ビル1F
Tel:03(3237)1370 携帯090-2525-5037
Email : m-misawa@nbw.co.jp



オリンピックインタビュー

平昌金メダルに貢献 青木啓成さん (高38回卒)

昨年韓国で行われた平昌オリンピック。県内のニュースとしては小平奈緒選手(相澤病院)の金メダル獲得など活躍した日本スピードスケートチームの舞台裏を支えた中に、縣陵OBがいたことをご存知だろうか――。

38回卒の青木啓成さん。信大医療技術短大卒業後、理学療法士として30年間相澤病院に勤務し、脳卒中からの復帰のためのリハビリ

医療の充実、県内の高校生スポーツのサポート等に尽力し、スピードスケートのナショナルチームに関わるようになったのは2010年のこと。同病院に一緒に赴任したスポーツドクターが、スピードスケート全日本のチームドクターになった

たことをきっかけに、トレーナーとして関わるようになった。

当時の全日本ジュニアチームを任され、彼らに寄り添い約8年、平昌へ主力の選手として送り出し、と



平昌オリンピックのリンクに立つ青木啓成さん(2018年2月)



選手一人一人の心身を把握し、その時々に応じた処置をし、試合に臨む

もに大舞台に挑んだ。その中で長くかかわった世代、女子パシュートチームの高木菜那・美帆姉妹、佐藤綾乃選手らが金メダルを獲得。感慨を味わったのは選手村で選手からメダルを首にかけてもらった時。「寝る時間もないほど必死の一月。緊張し続けオールアウトでした」と振り返る。

パシュート金の瞬間を現地と一緒に応援した男子選手が、安心していただけに胸に刻まれている。「全員が結果を出せるわけではない。選手一人ひとりへの対応、言葉、これでよかったのかと自問自答した」という。

県の高校スポーツと関わり、けがする前の体作りが大切と気付き、選手サポートの道へ導かれて20年余り。「世界で戦える体作りに向かい合うことは、気が遠くなるほど時間と労力が要る作業」と話す。

選手にとつ

では、体の状態はメンタルに強く影響する。粘り強く向かいあってくれるトレーナーの存在があつてこそそのパフォーマンスと言つても過言でない。

青木さんの存在は、アスリートの力となり、現場の若い理学療法士たちに大きな影響を与えている。「選手にとつてもトレーナーが体作りの道筋を示し、積み上げていくことが次につながる」と強く感じる。(若い人にも)プロセスを積み重ねる大切さを伝えていきたい」と地道な姿勢を崩さない。

(取材：中山英子・高41回卒)

Column

あと1年に迫つた東京2020オリンピック・パラリンピック大会。35回卒で映画監督として活躍する山崎貴さんが、オリンピックの開閉会式プランニングチーム・クリエイティブ・ディレクターの大役を果たす。



今年、「アルキメデスの大戦」と「ドラゴンクエスト ユアストリー」の公開も控えている。「短期間で2本の作品を公開することになりましたが、まるでベクトルが違う2作品なので出来れば2本とも見ていただくと嬉しいですね(笑)強敵に挟まれながらの2週連続公開。こんなおそろしく一生に一度しかないであろう機会を一杯楽しみみたいと思います。暑い夏になりそうです(山崎さん)



学校法人をはじめ各種法人のさまざまな事務処理、アウトソーシングを一括受託
株式会社 **ポストインネットワーク**
ホームページ <http://www.postin-net.com/>



発送代行、データ管理は、Pマーク企業の当社におまかせ下さい。
相談役 **村越 政雄** (高21回卒)

本社：〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-31-11 KSビル4F
Tel.0422-23-7620 Fax.0422-23-7630
企画営業部：Tel.0422-23-7616 Fax.0422-23-7626
物流センター：〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田1-19-6-2F
Tel.04-2951-7507 Fax.04-2951-7517

会 三 四 縣 陵

巢山 英毅
(高11回卒)

〒178-0062
東京都練馬区大泉町6-11-6
Tel.03(3925)0244 Fax.0263(82)5711



縣陵昨今 刻苦研鑽他念なき 飛躍の時は今なるぞ

恩師…3年D組担任・英語
丸山 裕望(高12回卒)

私は皆さんが卒業した年に筑摩高校に移り、その後、諏訪二葉蠟ヶ崎を経て深志で退職しました。その後、県ヶ丘高校に半年間(平成三十年三月迄)勤めました。現在は、一日の大半をオンラインでBBC、CNN、MSNBC放送を聴いて過ごしています。

松本では県立高校の再編・整

備は未定ですが、私立の「松本秀峰中等教育学校」と「松本国際高等学校」が設立されました。松本秀峰中等教育学校は既に難関大実績を上げています。また、松本国際高等学校はInternational Baccalaureate School(国際バカロレア認定校)を標榜して学歴に

秀でた生徒を募っています。県ヶ丘高校では平成六年に設置された「英語科」を改編して、県教育委員会が学びの改革として進める探究的な学びに沿った学科として課題解決やプレゼンテーションの能力などを養う探究的な学びを重視する自然探究科と国際探究科からなる「探究科」を設置することが平成三十年四月に認められました。自然探究科は理数系、国際探究科は文系を想定し、一年次は両学科共通の探究科で学び、二年次から希望する学科に分かれることとなります。

科設置を支援する卒業生の有志による「縣陵の学びを支援する会」が発足し、三十三回生の松林知史氏がその会長に就任し、前同窓会長の佐藤彦雄氏と共に尽力されました。探究科の前期選抜には募集人員六十四名に対して百六十八名が、後期選抜には募集人員十六名に対して四十八名が志願しました。県ヶ丘高校は英語科の設置に伴い相当の進学実績を上げてきました。今後は探究科と普通科が互いに切磋琢磨して勉学に励み、県ヶ丘高校が以前にも増して発展し、松本平の学びの中心となり、地域の期待に応えてくれることを祈っています。

縣陵の思い出



恩師…3年H組担任・理科
下澤 秀夫

松本県ヶ丘高校への赴任が決まった時、「松本ではあそこは縣陵といつて…」と今は亡き義父が

だきました。教員生活で最も長く在籍した学校です。

親しみを込めて話してくれたことを、この原稿の執筆にあたり懐かしく思い出しました。縣陵には、昭和六十年から平成五年までの八

先日久しぶりに同窓会名簿を開き、私の受持った学年、クラスの生徒の名前を目で追っていきますと、一人一人の当時の面影が思い出され、個々のエピソード、クラス内や学校内外での出来事(場合によっては事件)が、走馬灯のように浮

かんできました。ここで出来事を披露することは、プライバシーの問題もあり、何かと差しさわりがありますので割愛させていただきます。代わりに、教員としてややや?だった(皆さんに言わせると?だらけ)私について少しだけお話しさせていただきます。

生徒の皆さんにも、良かれと思えば、無理難題を吹っ掛けるような教員でした。その当時は思い出すと赤面せざるを得ません。そんな私でしたが、縣陵の生徒さんや先輩の先生方には、大きな気持ちで支えていただき、育てていただいたと感謝しています。先日、理科の教員仲間と雑談する機会があり、三十代は縣陵に在籍していたことを話したところ、「下澤さんは恵まれていたね。教員のキャリア形成の時期に縣陵にいたとは。」と言われました。その後の教員生活を頑張ったのは、「縣陵」のおかげだったと改めて理解しました。

総合建設業・一級建築士事務所・宅地建物取引業



ひとに優しい未来を創る
ASUPIA
AMENITY, SECURITY & UTILITY for UTOPIA
株式会社 **アスピア**

代表取締役
百瀬 方康
(高22回卒)

〒390-8639 長野県松本市宮淵1-3-30 TEL.0263-32-8855 FAX.0263-35-1618 E-mail:info@asupia.co.jp

一緒にゴルフしませんか?

新会員募集中
ゴルフ同好会 アルペン会

年2回名門コースでコンペ有り
一人でも参加できます。

会長 奥原 弘夫 (高11回)

連絡先 agatagolf@yahoo.co.jp





第52回

松本県ヶ丘高等学校

東京同窓会 総会・懇親会のご案内

時代、世代を超えて、
母校のこと、故郷のこと、語り合いませんか。

Generation

～昭和、平成、そして新しい時代へ

日時：2019年6月8日(土) 12:30～16:00

会場：アルカディア市ヶ谷(私学会館)3階 富士の間

東京都千代田区九段北4-2-25 TEL:03-3261-9921
JR/地下鉄市ヶ谷駅から徒歩2分

会費：一般の方：10,000円

若手世代：3,000円(2009年3月以降に卒業の方(高61～71回卒))

準若手世代：7,000円(1999～2008年3月に卒業の方(高51～60回卒))

申込方法 東京同窓会公式ホームページ

「縣陵東京ネット」からお申し込みください。

<http://www.kenryo-tokyo.net>



team AKS41

(縣陵41回卒業生の会)
実行委員

伊藤 誠治(明科、D、野球部)

石田 憲政(明科、H、映画研究部、音楽部)

黒澤 貴子(丘、E、吹奏楽部)

高木 朋味(旭町、H)

竹内 裕美子(両小野、H、陸上部)

塚田 誠司(高瀬、B、写真部)

永田 知子(鉢盛、E、陸上部)

中山 英子(丸ノ内、F、陸上部)

*旧姓のまま(中学、クラス、部活)

事業内容
金属部品の機械加工及び溶接

そ ゆ う
創悠遊
有限会社

《一人一業・自他共栄》

代表取締役社長 **伊東 昌恒** (高41回卒)

〒390-1131 長野県松本市大字今井7089-3
TEL: 0263-85-7797 FAX: 0263-85-7798

理論と科学 先進の
凍結防止ヒーターの総合メーカー

株式会社 ワーク

代表取締役 **等々力 豪** (高41回卒)

〒399-8201 長野県安曇野市豊科南穂高 4961-4
TEL: 0263-72-7239 HP: <http://www.work-todo.co.jp/>

マルモ 百瀬商店株式会社
青果物・業務用食品・酒類 販売

百瀬 文久
(高41回卒)

〒390-1520 長野県松本市安曇125
TEL 0263-94-2311 FAX 0263-94-2038

暮らし継がれる家

甲信アルプスホーム株式会社

代表取締役会長 **百瀬 方康** (高22回卒)

三井ホーム 松本市笹部1-3-6 TEL.0263-28-3131

各種花束・アレンジメントから 観葉植物・洋蘭・苗など

安政2年(1855年)創業

フラワー ショップ **さわや**

代表取締役 **太田 正二** (高41回卒)

〒390-0872 松本市北深志2-4-6 (安原バス停前)
TEL.0263-35-0388(代) FAX.0263-33-1788

KENRYO 37

みんなの会
37回卒 同窓生一同

ことしも東京同窓会の開催ありがとうございます。先輩がた、後輩たちと美味しいお酒を飲んで、覇権の剣を歌って、それからまた飲んで食べて歌う一日です。

彫刻・パブリックアートの
設計・制作・施工。

株式会社 ビーファクトリー

代表 **中村 茂幸** (高27回卒)

(株)ビーファクトリー 〒123-0864 東京都足立区鹿浜1-13-19
Tel/Fax 03-3857-8155 be-fa@onyx.ne.jp www.onyx.dti.ne.jp/be-fa/
いりや画廊 〒110-0014 東京都台東区北上野2-30-2
Tel/Fax 03-6802-8122 gallery_iriya@kkh.biglobe.ne.jp

●診療科目●
小児科・内科

Mimura
MIMURA CHILDREN'S CLINIC

みむら小児科クリニック

院長 **三村 明朗** (高24回卒)

〒158-0081 東京都世田谷区深沢 4-11-3 Tel/Fax 03-3705-3322

○ [火・木・金]
乳児検診・
予防接種 (予約制)
○ 水曜・土曜午後・
日曜・祝日は休診

年代を超えた縣陵生の社交場 **ガード下縣陵会**

日時: 奇数月の第二土曜日・15時~19時
会費: 3,000円 (飲み食い放題・カラオケ付)
会場: JR 神田駅南口ガード下
ふじくら 宮ちゃん 店主: 宮腰 正英 (高15回卒)
03-3258-4758

会長 **平賀 幸司** (高14回卒)

○飲酒は20歳を過ぎてから!

株式会社 日本M&Aセンター
東証一部上場

法人事業本部 企業戦略部 担当部長 **福井 順** (高31回卒)
M&Aシニアエキスパート (一般社団法人金融財政事情研究会認定)

~縣陵同窓生企業の『存続と成長・発展』に貢献します(実績多数)~

〒100-0005 千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング24階
TEL 03-5220-4935 (直通) 携帯 080-3678-2041
e-mail: fukui@nihon-ma.co.jp <http://www.nihon-ma.co.jp>



100周年に向けて あひるの子の会

伊東 達也 (高61回卒)

「東京でもあひるの会のよう
な合唱団を作って、一〇〇周
年に向けて活動したい。」

そう声を掛けられたのは、
縣陵在学中に縁のあった、ま
つもと市民オペラ『ちゃんち
き』の稽古場に立ち寄った帰
りであった。

私は縣陵を卒業後、東京藝
術大学に進学、声楽の道を志
した。現在は東京に拠点を置
き、都内や近郊でオペラ等に
出演しながら活動をしている。

きっかけは、冒頭にある通
り。是非お力添え出来れば、
とお話をくださった方に連絡
先を渡す。しばらくして連絡
があり、昨年一月、合唱団「あ
ひるの子の会」が発足した。

どのような声か、どのよう
な色が出てくるのか、非常に
楽しみで初回、練習に臨んだ。
しかし、ほとんどのメンバー
が私より二、三周りは上のお歳
だ。皆さんで声を出して楽し
めればいいのか、そんな風
に思いながら振り下ろした第

一言。

私の予想は裏切られた。活
き活きとした声や色が私を圧
倒した。声が出ていけばテク
ニックを教えられる。私はこ
の合唱団が素晴らしく発展す
ることを確信した。

最初の課題は、昨年六月の
東京同窓会での発表だった。
曲目は、『校歌』(混声四部)
と『見上げてごらん夜の星を』。
馴染みのある曲であるが故に、
旋律以外のパートを歌うこと
に苦戦しつつも、本番は素晴
らしいハーモニーを奏でること
ができた。悔しかったのは、
余興の催しという中で、聴衆
全ての耳を捕らえられなかつ
たこと。これは指導者として

未熟な私が勉強させてもらっ
たことだ。今年では会場全ての
耳を、心を捕らえられるよう、
工夫したいところである。

昨年十二月には、松本の「あ
ひるの会」定期演奏会に参加
させていただいた。参加は有
志であったものの、『時代』『若

い広場』の二曲を全員で取り
組んだ。両曲とも四部編成と
いうことでかなり苦戦を強い
られたが、毎回のメンバーの
努力もあり、形にすることが
出来た。残念ながら私は当日、
埼玉で自分の本番があり、松
本に参ることが出来なかつ
たが、帰ってきたメンバーの
様子を見る限り、熟練した松
本のメンバーから感じ取って
きたことが少なからずあるよ
うで喜ばしいことである。

現在では六月の東京同窓会の
発表に向けて練習をしている。
昨年よりもレベルアップした
演奏を皆様にお届け出来るこ
とを確信している。

練習は月に二回。真剣に指
摘しあって、真剣に笑いあい、
真剣にアフターでお酒を交え
る(実はこれが主目的なので
は...)。素敵な会である。音楽
は人の心を豊かにする。これ
をお読みの皆様も、私たちと
素敵な音楽に興じてみてはい
かががらうか。

志であったものの、『時代』『若

縣陵英語科大同窓会 開催の予定

英語科同窓会幹事会を中心に2020年3月に"Pass the Baton"をテーマに英語科・探究科同窓会の準備活動が進められています。今後、詳しい情報はブログやSNSを通じて発信される予定です。英語科OBの方、アクセスしてください。https://erskenryo.blogspot.com/

バリアフリーと車坐コンサートの宿
信州／松本浅間温泉

ホテル 玉之湯

〒390-0303 松本市浅間温泉1-28-16
Tel 0263-46-0573 Fax 0263-46-5178

山崎 広太・礼美
(高54回卒) (高57回卒)

高29回卒 横田尚江
高35回卒 木下匡晃

信州松本・大名町のはんこや

有限会社 木下製印社
松本市大手3-3-5(八十二銀行前)
TEL(0263)32-2665
URL http://www.inshop.co.jp
営業時間 AM8:30~PM7:00
定休日 日曜・祭日・土曜の夜

「丘の会」めざせ!
甲子園!!

縣陵野球部を応援します。

松本県ヶ丘高校 野球部 東京OB会

会長 松尾 静二郎 (高9回)
045-351-1620

幹事長 千津井 利男 (高10回)
03-3300-4400



祝! 第52回松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

100年に向かって
飛躍する縣陵を
38の会は応援します

大人の
縣陵祭
2016

アルカディア市ヶ谷で
またお会いしましょう!

縣陵
38の会



縣陵東京同窓会、活動この一年

東虹会

東虹会は東京同窓会の同好会として活動している。春の花見会、12月の忘年会が主な年中行事。そして4年に1回東虹展という美術展を開催している。今年3月には第7回東虹展が「いりや画廊」で開かれた。出品者は21名、絵画、彫刻、陶芸、工芸、書、デザイン、建築などジャンルは様々で、40点以上の力作が展示された。東虹会では若い縣陵生のものづくり会員をいつでも歓迎しています。



丘の会

2018年4月14日(土)に港区芝公園のメルパルク東京で「丘の会」第10回総会・懇親会が約20名を集め、開催されました。母校野球部は2018年の第100回全国高等学校野球選手権大会長野大会では3回戦で松本国際高校に惜敗しましたが、秋の北信越地区高等学校野球大会では中信地区予選を突破し、県大会に進出しました。母校野球部の甲子園出場を祈願して、東京周辺地区在住の野球部OBの支援の輪を広げていきます。



あひるの子の会

昨年1月に東京同窓会会員の有志によって合唱団「あひるの子の会」が立ち上がりました。指導者は若手のバリトン歌手伊東達也先生とピアノ伴奏に現役の芸大生早川聖也先生を迎え、現在会員は80代から20代まで18人。昨年は同窓会懇親会で校歌「若き我等」と「見上げてごらん夜の星を」を四部合唱で歌い、12月には松本の音楽文化ホールで「あひるの子の会」のコンサートに参加させていただきました。「時代」「若い広場」を歌いました。今年の活動は同窓会懇親会、4月に白馬での合宿、7月の「東京都合唱祭」に参加予定です。只今会員募集中!!



神田ガード下縣陵会

宮腰正英(高15回卒)さんが20年以上に亘って守る神田駅南の高架下「宮ちゃん」。平賀幸司(高14回卒)さん会長の下、奇数月第2土曜日の例会を中心に、花見、忘年会など赤提灯をこよなく愛する同好の士の集まり。例会の案内を出す方々は約100人。いつも30人ほどが集まります。最長老高2回生から60回生まで幅広く、昭和の風情が色濃く残る店で、飲んで話せば肝胆相照らすようになるのはアツという間。世代を越えて松本弁で賑やかに。松本そして東京同窓生の今を知り、それを着に縣陵生の魂を再確認しています。



渉外委員会

渉外委員会の活動は、長野県同窓連を通して他校との親睦を図る事とし、長野県下53校が参加する長野県同窓連と、県内を4地区に分け11校が参加している中信同窓連の二つの組織がある。30年度は、長野県同窓連の総会が5月、新年会が2月。中信同窓連は、総会が7月、忘年会が12月に行われた。東京同窓連の新年会には御嶽海関が招かれ、300名の盛大な会となった。昨年は、中信同窓連の行事として、秋に1泊2日の草津温泉バス旅行があり、バス二台で70名ほど参加している。縣陵が幹事校で20名の参加があった。

縣陵レディース

縣陵レディースは、東京同窓会の委員会です。女性会員の同窓会への参加促進を図る目的で、役員約15名で年1回の企画・運営を行っています。2018年の行事は、「生麦で麦を学んで生ビール+バーベキュー!」というタイトルで、キリンビールの横浜工場見学と工場内のレストランでビール飲み放題のバーベキューという企画を実施し、47名の方に参加いただきました。年代を超え縣陵卒業生同士、親しく語り合い参加者皆さんには、大変満足していただけました。一緒に役員をやっていただける方を、募集しています。

6年委員会

東京同窓会実行委員年次より6年遡った若い世代を中心に親睦を深めてきましたが、昨年度に引き続き、交流会を実施。参加者は少な目でしたが活発な議論もできました(写真)。31年度から「ビジネス交流会」を、6年委員会の活動とは独立に開催し、同好会の位置づけとして存続させ、6年委員会は原点に立ち返り6年間の同窓生の発掘に注力します。

アルペン会

東京同窓会ゴルフ同好会「アルペン会」は昭和44年11月29日に 第1回大会を赤羽GCにて参加者8名で開催されました。全国の同窓会活動の中でも、最も古く継続されているゴルフ大会と年齢の壁を越えた親睦で同窓会活動の発展に寄与していると自負しています。近年は春と秋の2回開催となり、昨年は記念大会として「第80回記念大会」を大月GCにて開催しました。アルペン会活動報告などは、縣陵ネットへアクセスして下さい。

インテリアARAKI

内装工事・設計・施工

代表 荒木 仁(高23回卒)

〒157-0061 世田谷区北烏山7-2-18

TEL:03-3308-5610

FAX:03-3308-5624

Email:gh-araki@jcom.home.ne.jp



鶴ヶ島の家 外観



鶴ヶ島の家 居間内観



小松清路建築研究所

SEIJI KOMATSU ARCHITECT & ASSOCIATES

代表 小松清路 (高23回卒)

〒169-0072 新宿区大久保2-1-3-1201 TEL.03-3209-3127 FAX.03-3209-3126 E-mail:aska@aska-komatsu.jp URL http://aska-komatsu.jp/

医療法人社団 梓会

- 一般歯科
- 口腔外科
- 審美歯科

古畑歯科医院

いびき・睡眠呼吸障害研究所

日本歯科大学付属病院 内科 臨床教授
日本睡眠学会認定歯科医師

古畑 升 (高22回卒)

〒107-0052 東京都港区赤坂6-15-1 ミツビル2F
TEL・FAX 03-3587-1832



＊年会費、終身会費納付 ご協力をお願い

日ごろ、東京同窓会の運営にご協力いただきありがとうございます。

東京同窓会は、関東圏在住約3000名の同窓生からの年会費、終身会費により運営されており、今日迄、600名以上の皆様から終身会費の納付協力をいただき、また昨年は144名の皆様から年会費の納付協力をいただきました。改めて、東京同窓会の運営に浄財を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。皆様方のおかげで、年々総会・懇親会の参加人数増加や各分科会のイベント参加拡大ですます盛上がり、縣陵生の絆を深め広めることができました。

毎年納付いただきました年会費、終身会費は各委員会の事業計画に沿って無駄の無いよう使わせていただいています。また、今回の総会や、4年後の100周年行事に向かって財政基盤の充実を図る努力をしております。

つきましては、東京同窓会運営にご理解いただき、まだ、年会費、終身会費の納付手続きをなされていない会員の皆様に、同封の郵便払込取扱票をご利用いただきお振込のほどよろしくお願い申し上げます。

財政委員長 山本寛 (高28回卒)

年会費 2,000円/年
終身会費 20,000円



祝52回
縣陵東京同窓会
福の会
高29回卒一同

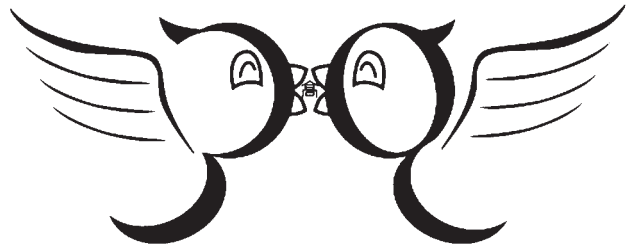
酒亭

ふじくら・宮ちゃん

宮腰 正英 (高15回卒)
090-7256-9707

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-14-1
(JR神田駅南口ガード下) 電話 03(3258)4758

Hello!
We are
Thank You
KENRYO-Kai!



高校39回卒業生の会 サンキュー縣陵会

縣陵40
高40回生一同

本格手打ちそば
信州家 特製の
仕出し弁当

店主 上條桂史 (高40回卒)
電話番号: 090-4460-5776 (店主直通)
*1万円以上配達可

信州家 そば 検索

魚と日本酒の旨い店
味彩酒房
仁

代表 岸野 裕二 (高38回卒)
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-1
Tel. 03-3234-2566

日本最大級 子連れOKなレストランを探せる
クチコミサイト スマイリーマム

Smiley-Mom

取締役 河野 哲男 (高38回卒)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-2
神田神保町2丁目ビル6F



松本県ヶ丘高等学校東京同窓会 平成30年度決算報告

【一般会計の部】

自 30年4月1日 至 31年3月31日 単位：円

収入の部		支出の部	
適用科目	金額	適用科目	金額
前年度繰越	186,017	総会関係支出	2,850,904
本部助成金	100,000	総会懇親会費	2,494,815
総会関係収入	3,317,002	実行委員会費	166,405
総会会費	3,018,000	次期引継会費	189,684
寄付金	179,000	会報発行費	612,452
ご祝儀	120,000	制作費	171,720
雑収入	2	印刷費	162,643
広告収入	760,000	発送費等	278,089
会報あがた広告	640,000		
縣陵コネクション広告	120,000		
コネクション特別勘定戻(-)	36,000	その他支出	1,654,427
会費特別勘定繰入	714,000	幹事会費(4回)	833,813
会費繰入(年)	314,000	総務委員会	100,399
会費繰入(終)	400,000	総会指導委員会	19,000
		渉外委員会	206,866
		広報委員会	22,000
幹事会費(4回)	485,000	HP運営費	172,890
寄付金	0	6年委員会	10,000
その他	0	縣陵レディース	150,000
仮払い戻り	100,000	財政委員会	66,036
		会計委員会	14,972
		事務局	53,807
		諸雑費	4,644
		仮払金	100,000
銀行利息	5	次年度繰越金	408,241
総合計	5,626,024	総合計	5,626,024

平成30年度特別会計の部

1. 会費特別勘定

前年度未会費口預金残高	6,452,190円
本年度終身会費受入額	660,000円
本年度年会費受入額	296,000円
寄付金受入額	89,000円
広告費受入額	640,000円
縣陵コネクション掲載料受入額	84,000円
一般会計勘定より戻り	36,000円
総会懇親会参加費受入額	2,129,000円
普通預金利息	47円
郵便振替・銀行振込手数料(-)	-28,932円
一般会計勘定繰入(-)	-1,474,000円
実行委員会口座繰入(-)	-2,218,000円
前受金戻し(-)	-155,000円
前受金戻し(-)	-6,000円
前受金(平成31年)	85,000円
会費口座預金高	6,589,305円
終身会費口預金残高	5,531,783円
年会費口預金残	1,057,522円

2. 特別基金勘定

りそな銀行定期預金(自由金利口)	1,633,796円
内 当期預金利息	139円

平成30年度一般会計の部並びに特別会計の部を上記のとおりご報告いたします。

2019年4月8日
会計幹事 小林 哲彦

会計監査報告書

会計幹事より提出を受けた帳簿、領収書、伝票類をもとに慎重に監査した結果上記会計報告は適正であることを認めます。

2019年4月8日
監事 高附 弘幸 矢満田 克夫 新津 毅

平成30年度次期繰越金内訳

みずほ銀行普通預金	408,241円
会計幹事手許現金	0円
合計	408,241円

会費振込みのお願い	会則第15条に基づき平成31年度の年会費のお支払いをお願いしております。同封しました郵便払込取扱票をご利用のうえ6月末日までにお振込下さい。	年会費 2,000円 終身会費 20,000円 (財政委員会)
------------------	------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------

平成30年度事業報告

今まさに平成が幕を閉じ、新元号の年が始まろうとしています。日本自体を滅ぼしかねない戦争を経て、敗戦後に奇跡的復興を成し遂げた昭和から、平成に代わり、日本では不動産バブルがピークに達し、89年12月の日経平均株価は3万8957円を記録しました。その2年後、バブルが崩壊し「失われた20年」に突入し、更に2回の大災害を経験し、決して「平らかに成る」時代ではありませんでした。新元号下、日本号はどこへ向かうのでしょうか、不安もありますが、それ以上に、良い時代が来るように期待したいと思います。

第51回総会、懇親会を高40回生が実行委員会を組織し「colorfulカラフル～100年人生を鮮やかに」をテーマに掲げ、6月9日(土)アルカディア市ヶ谷(私学会館)「富士の間」において313名が集い、盛大に開催されました。総会では、役員改選が行われ、新会長・副会長が承認されました。これまでの御活躍に感謝を込め、平沢前会長へ花束が贈呈され、無事総会を終えました。懇親会は新たに結成された同好会「あひるの子の会」の合唱やサークル紹介動画の上映、レジェンド顕彰撮影など感動する時間を過ごされました。この様な総会・懇親会を開催できたことは、実行委員会、幹事会役員、会期幹事、皆様のご努力のおかげと感じております。心から感謝いたします。

懇親会の最後は西村実行委員長から、52回総会・懇親会実行委員長伊藤誠治氏に禱が託され、無事終了いたしました。参加された会員の皆様には心よりお礼申し上げます。

各委員会活動報告

総務委員会	合同幹事会4回開催・代表幹事会2回開催
母校創立100周年準備委員会	佐藤会長が同会の副会長に、巢山副会長と太田100周年記念事業委員長が委員に選出される。三澤幹事長・小松副会

長が建設委員会に所属、会合に2回出席。母校2020年会員録発行に伴う編集委員会広報として、戸田広報委員長・赤須広報副委員長・荒木参与・佐藤事務局次長を選出

**財政委員会
会計委員会
渉外委員会**

同窓会活動の根幹である財政の管理
事業実行の為に予算案作成・管理・決算書作成
本部同窓会・関西同窓会及び僚友校との親睦・中信同窓連・長野県東京同窓連総会に出席、中信同窓連懇親旅行参加、長野県東京同窓連 巢山英毅会長(高11回卒)バックアップ

**広報委員会
縣陵レディース**

会報「あがた」40号を発行・ホームページの管理・維持・縣陵コネクション運営
縣陵レディース「生麦で麦を学んで生ビールノバーベキュー」
参加者：女性19名、男性27名、同伴者1名 合計：47名

**6年委員会
総会指導委員会
実行委員会
事務局
縣陵同好会支援**

若手会員の発掘・交流会の開催
総会に向けて 40回卒から41回卒への引き継ぎ、指導高41回卒伊藤実行委員長を中心に52回総会・懇親会の準備
幹事会案内の発送・出欠確認・名簿管理
アルベン会、東虹会、丘の会、あひるの子の会を支援

東京同窓会はこれまでの諸先輩方の努力と100名を超える幹事のおかげで、安定し、かつ有意義な活動ができております。同窓会は皆様の年会費・終身会費・広告料・ご寄付・総会懇親会参加費などを予算案に基づき活動費に充てております。会費については年会費、終身会費を払っていただけるよう更に努力いたします。同窓会の更なる飛躍と、これから参加していただけるであろう後輩たちに、引き継いでいけるよう幹事一同努力いたします。会員の皆様のご更なるご支援・ご協力をお願いいたします。

事務局長 あらきひとし 荒木 仁 C (高23回卒)



松本県ヶ丘高等学校東京同窓会第八代会長 佐藤悦雄さとう えつお (高10回卒)

我等の縣陵に思いを込めて

皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。新緑の美しい季節となりますと故郷・信州の新緑を思います。

私は昨年六月の総会におきまして会長を拝命いたしました。その総会にご参加の方々にはご挨拶申し上げましたが、改めてこの紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。東京同窓会の発展に全力を尽くす所存です。よろしくお願い申し上げます。

今年元号が変り(原稿執筆時は未発表)、新時代の幕開けです。この時代の変わり目の時に第五十二回縣陵東京同窓会が開催されますことは意義あることと思えます。半世紀以上に渡り継続されて来た同窓会です。歴史の重みを感じます。

母校におきましては一昨年英語科を發展させ「探究科」を創

設しました。探究科には自然探

究科と国際探究科と二つのコースを設けました。時代の変化に即応した対応だと思えます。又2023年には創立百周年を迎えます。少子化の波を受け県下においても高校の統廃合が行われ始めました。その状況下において母校が社会のニーズを先取りしながら、進化している姿は嬉しく頼もしい限りです。母校がその歴史を積み上げながら永続して發展していくことを心より願っております。

歴史ある東京同窓会においても時代や母校の変化を吸収しつつ前進し拡大していくことが必要と思えます。同窓会活動としてふるさと納税を活用しながら母校への寄付活動が続けております。草の根活動のように根を張り永続して応援して行くことが大切だと思えます。また個別

の活動としましてはゴルフのアルペンは今年八十一回目を迎えます。縣陵レディースの会は昨年ビール工場見学会を行いました。神田ガード下縣陵会、美術の東虹会も積極的に活動しております。昨年一月には混声合唱団(あひるの子の会)が創設され、同窓会・懇親会では練習の成果を発表しております。その他各学年の同期会などが盛んにこなわれております。同窓会の皆さん色々な会に顔を出し旧交を温めリラックスしてください。結構楽しいですよ!!

この六月八日(土)に東京同

窓会が開催されます。毎年三百人位の同窓生が集まり盛大な同窓会です。今年高四十一回卒の伊藤誠治さんを実行委員長として、同期の方々が委員となり工夫を凝らした楽しい会を計画しております。順繰りなことと

は申せ、社会でも家庭でも重要なお忙しい立場の中、本当に有難うございます。よろしくお願

い申し上げます。同窓会に合わせ同期会も計画されているようです。久方振りの顔合わせ



2018年平成最後の第51回東京同窓会総会・懇親会

を楽しんで下さい。

会員の皆様がた是非とも同窓会にご参加下さい。心よりお待ちしております!!

皆様のご健康と多方面でのご活躍を心より祈念しております。